

大分工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語総合
科目基礎情報					
科目番号	R02E101		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電気電子工学科		対象学年	1	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	三角洋一他「新編国語総合」(東京書籍)・課題ノート『学習課題ノート』(東京書籍)・「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店)・「ジャンプアップ高校漢字問題集」(東京書籍)				
担当教員	広瀬 裕美子				
到達目標					
(1) 現代文(評論・随筆・小説)に親しみ、読解や鑑賞の基礎・応用を身につける。〔定期試験、提出課題〕 (2) 古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につける。〔定期試験、提出課題〕 (3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につける。〔課題ノート、提出課題〕 (4) 常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につける。〔定期試験、漢字小テスト〕					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)
評価項目1	現代文(評論・随筆・小説)に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力を十分身につけている。		現代文(評論・随筆・小説)に親しみ、読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけている。		現代文(評論・随筆・小説)に親しんだが、読解や鑑賞の基礎力・応用力を身につけてない。
評価項目2	古文・漢文の読解の基礎力・応用力を十分身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけている。		古文・漢文の読解の基礎力・応用力を身につけていない。
評価項目3	文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を十分身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけている。		文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や表現力を身につけてない。
評価項目4	常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を十分身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけている。		常用漢字(書き取り読み取り)・慣用句・四字熟語等の基礎的語彙力を身につけていない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (C1)					
教育方法等					
概要	・現代文(評論・随想・小説)及び古文・漢文を読み、内容読解・鑑賞・文章作成を行う。また、表現力の向上に向けて作文や発表を行う。 ・漢字問題集を試験範囲とした「漢字小テスト」を定期的に行い、漢字・語句の力を身につける。 〔科目情報〕 授業時間 46.5時間				
授業の進め方・方法	基本的に講義を中心に学習するが、可能であればアクティブラーニングの授業も実施。 〔総合評価〕 総合評価 = (3回の定期試験の平均点) × 0.7 + (課題の平均点) × 0.3 〔再試験〕 総合成績が59点以下の学生に対して実施。				
注意点	〔履修上の注意〕 提出課題の提出、課題ノートの提出、漢字小テストを評価して、課題点(30 点満点)とする。授業で用いたプリントは考查の範囲に入れることもあるので必ず保管しておくこと。 〔自学上の注意〕 作品本文の音読を始め、学習課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること。				
評価					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	現代文(1)	評論(1)－1	
		2週	現代文(2)	評論(1)－2	
		3週	現代文(3)	評論(1)－3	
		4週	現代文(4)	評論(1)－4	
		5週	現代文(5)	評論(1)－5	
		6週	古文(1)	読解(1)－1〔基礎事項の復習〕	
		7週	古文(2)	読解(1)－2	
		8週	古文(3)	読解(1)－3	
	2ndQ	9週	古文(4)	読解(1)－4	
		10週	漢文(1)	読解(1)－1〔基礎事項の復習〕	
		11週	漢文(2)	読解(1)－2	
		12週	漢文(3)	読解(1)－3	
		13週	漢文(4)	読解(1)－4	
		14週	前期期末試験		
		15週	期末試験の解答と解説		
		16週			
後期	3rdQ	1週	現代文(6)	随想・小説(1)－1	
		2週	現代文(7)	随想・小説(1)－2	
		3週	現代文(8)	随想・小説(1)－3	
		4週	現代文(9)	随想・小説(1)－4	
		5週	現代文(10)	表現〔作文〕	
		6週	古文(5)	読解(2)－1	
		7週	古文(6)	読解(2)－2	

	4thQ	8週	古文(7)	読解(2)－3
		9週	後期中間試験	
		10週	中間試験の解答と解説	
		11週	漢文(5)	読解(2)－1
		12週	漢文(6)	読解(2)－2
		13週	現代文(11)	評論(2)－1
		14週	現代文(12)	評論(2)－2
		15週	後期期末試験	
		16週	期末試験の解答と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。	3	
				いくつかの代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べるができる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0